

クミアイ スピノエース™ 顆粒水和剤

園芸用殺虫剤

微生物がつくる、天然物由来の殺虫剤

- 多彩な作物の多くの害虫に適用
- アザミウマ類、チョウ目害虫に優れた効果
- 有機農産物に使える

栽培形態と使える農薬

※1 慣行栽培と比較して削減対象農薬の使用回数が50%以下

	有機JAS規格別表2の農薬	マシン油剤、銅水和剤、生石灰、性フェロモン剤、天敵など生物農薬、スピノサド水和剤、他（一部化学合成農薬を含む）
慣行栽培	○ 使用可	
特別栽培※1	○ 使用回数にカウントされない	
有機栽培	○ 農作物の被害が予想される場合に使用可	



知らず知らずに進む、
害虫の被害。

■クミアイ スピノエース™顆粒水和剤の適用害虫と使用方法

使用方法:散布

散布流量:10アールあたり100～300ℓ(いちじく、マンゴー、ラズベリー、樹木類は200～700ℓ)

*収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびスピノサドを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	時期*	回数*		
キャベツ	コナガ、ヨトウムシ アオムシ、タマナギンウワバ	2,500～5,000	3日	本剤 3回※1		
	ハイマダラノメイガ、アザミウマ類	5,000				
はくさい	コナガ、アオムシ、 ハイマダラノメイガ	2,500～5,000				
	ヨトウムシ、カブラハバチ	5,000				
ブロッコリー	コナガ、アオムシ					
だいこん	コナガ、アオムシ、	2,500～5,000	7日	3回		
はつかだいこん	キスジノミハムシ	5,000	14日	2回		
セルリー	ハモグリバエ類	2,500	3日	3回		
にんじん	ハモグリバエ類					
かぶ						
実えんどう		5,000	前日	2回		
食用へちま						
カリフラワー	コナガ	3日	3回			
クレソン						
みつば	ハスモンヨトウ	※2	2回			
メキャベツ						
ふだんそう		7日	3回			
非結球メキャベツ		4,000	3日	2回		
	ヨトウムシ	5,000	14日	3回		
パセリ		2,500		2回		
みずな	アオムシ、コナガ、 ヨトウムシ類、 ハイマダラノメイガ、 アザミウマ類、 ハモグリバエ類	5,000	3日	1回		
非結球はくさい#		2,500～5,000	14日	2回		
非結球 あぶらな科 葉菜類# (みずな、非結球はくさいを除く)						
レタス	オオタバコガ	5,000	3日	本剤 3回※3		
	ヨトウムシ					
非結球レタス#	ハモグリバエ類	灌注500～1,000 (使用流量:セル成型 育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊 (30×60cm・使用土 壌約3ℓ) 当り500mℓ)	定植 前まで	本剤 1回※3 本剤 1回※4		
	オオタバコガ	2,500～5,000			7日	本剤 2回※4
	ヨトウムシ	5,000				
ねぎ、わけぎ、 あさつき	アザミウマ類	2,500～5,000	3日	3回		
	シロイチモジヨトウ					
ほうれんそう	アザミウマ類、シロオビノメイガ、 アシゲロハモグリバエ	5,000	前日	2回		
トマト、ミニトマト	アザミウマ類、オオタバコガ、 ハモグリバエ類					
なす	アザミウマ類	2,500～5,000				
	オオタバコガ	5,000				
ピーマン	アザミウマ類	2,500～5,000				
	オオタバコガ					
すいか	アザミウマ類	5,000				
メロン	ハモグリバエ類、 アザミウマ類、ウリノメイガ					
きゅうり(葉)	アザミウマ類	10,000	7日	3回		
きゅうり(花)			14日			
ズッキーニ		5,000～10,000	前日	2回		
ズッキーニ(花)						
ししとう	アザミウマ類	20,000	前日	2回		
甘長とうがらし						
アスパラガス		5,000				
いちご						
エンサイ						
すいぜんじな						
せり	アザミウマ類	5,000	前日	2回		
とうがん						
未成熟さげ	アザミウマ類	5,000	前日	2回		
未成熟ふじまめ						

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	時期*	回数
さやえんどう さやいんげん	ハモグリバエ類	5,000	前日	3回
いちじく	アザミウマ類			1回
マンゴー	チャノキイロアザミウマ		3日	2回
みょうが(花穂)	アザミウマ類		前日※5	
みょうが(茎葉)			※6	
よもぎ			1回	
ラズベリー			2回	
モロヘイヤ			3日	
つるな らっきょう				2,500
にんにく	5,000			
にら にら(花莖) しよくようほおずき 食用ミニバラ	アザミウマ類	10,000	前日	3回
しそ科葉菜類# しそ(花穂) 食用花# (かんそう(花)、 食用ぎく、 食用ミニバラを除く)	ミカンキイロアザミウマ		3日	
食用ぎく				
きく(葉)	アザミウマ類	5,000	発生 初期	3回
きく	ハモグリバエ類、 アザミウマ類 オオタバコガ			2,500～5,000
グアバ(葉)	バンジロウツノエグリヒメハマキ		3日	
さんしょう(葉)	アゲハ	10,000	3日	3回
花き類・観葉植物 (きくを除く)#	アザミウマ類	5,000	発生 初期	2回
樹木類#	ケムシ類			

- ※1.キャベツ はくさい ブロッコリー 本剤の使用回数:3回以内
スピノサドの総使用回数:4回以内(定植前は1回以内、本圖では3回以内)
- ※2.みつば 収穫7日前まで、但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで
本剤の使用回数:散布での使用法は3回以内、灌注での使用法は1回
スピノサドの総使用回数:4回以内(定植前は1回以内、本圖では3回以内)
- ※3.レタス 本剤の使用回数:散布での使用法は3回以内、灌注での使用法は1回
スピノサドの総使用回数:4回以内(定植前は1回以内、本圖では3回以内)
- ※4.非結球レタス 本剤の使用回数:散布での使用法は2回以内、灌注での使用法は1回
スピノサドの総使用回数:3回以内(定植前は1回以内、本圖では2回以内)
- ※5.みょうが(花穂) 収穫前日まで、但し花穂発生期はマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に
飛散しない状態で使用
- ※6.みょうが(莖葉) みょうが(花穂)の収穫前日まで、但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで
#印の登録には複数の作物名が含まれます。作物分類および作物名に含まれる別名の例
等の詳細は(独)農林水産消費安全技術センターウェブサイト「農薬の適用病害虫の範囲
及び使用方法に係る適用農作物等の名称について」をご覧ください。
- ミツバチに対する影響 ミツバチは2日後(5,000倍)から7日後
(2,500倍)、マルハナバチは3日後(5,000
倍)から8日後(2,500倍)に導入できます。
- ローテーション防除推奨 同じ薬剤および同系統の薬剤の過剰な連続使
用は避け、異なる作用機種の薬剤とローテ
ーション(輪番)で使用することを推奨します。

⚠️ 効果・薬害等の注意(抜粋)

●適用作物群に属する作物、またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠️ 安全使用上の注意(抜粋)

- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれがある場所では使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
- ・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - ・受粉促進を目的としてミツバチなどを放飼中の施設や果樹園では、使用をさけてください。
 - ・関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体など)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場等に放置せず、適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2020年10月現在の知見に基づき、作成されています。